

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

Corteva AgriscienceTM は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及びJIS Z 7253に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ルミビアTMFS

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号	: 03-3519-3410
電子メールアドレス	: SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺虫剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

水生環境有害性 短期（急性） : 区分 1

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

危険有害性情報 : H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き :

安全対策:
P273 環境への放出を避けること。

応急措置:
P391 漏出物を回収すること。

廃棄:
P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
クロラントラニリプロール	500008-45-7	50	8-(1)-3379
プロピレングリコール	57-55-6	1.5	2-234
パリゴルスカイト	12174-11-7	0.49	-

4. 応急措置

一般的アドバイス : 中毒情報センターまたは医師に問い合わせるときや治療に行くときは、製品の容器またはラベルを持っていくこと。

吸入した場合 : 化合物は危険有害であるとは思われないので、特別な措置は必要ではない。
必要であれば医師に相談する。

皮膚に付着した場合 : 皮膚接触では、この化合物が危険有害となる可能性はないが、使用後に皮膚の洗浄が望ましい。
必要であれば医師に相談する。

眼に入った場合 : 化合物は危険有害であるとは思われないので、特別な措置は必要ではない。
目に入った場合、水で 15 分間すすぐ。
必要であれば医師に相談する。

飲み込んだ場合 : 化合物は危険有害であるとは思われないので、特別な措置は必要ではない。
必要であれば医師に相談する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 人に対する中毒の例は知られていない、また実験的中毒の症状も知られていない。

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

- 応急措置をする者の保護 : 応急措置担当者は自分の安全確保に注意を払い、推奨されている防護服(耐薬品手袋、飛沫防護)を使用する。
ばく露する可能性がある場合は、第8項の保護具の情報を参照。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧
泡
二酸化炭素 (CO₂)
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし。
- 特有の危険有害性 : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。
火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。
燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:
窒素酸化物 (NO_x)
フッ化水素
塩化水素ガス
炭素酸化物
- 特有の消火方法 : 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
区域から退避させること。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて自給式呼吸装置を装着する。
保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出は必ず避けなければならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
広範囲に広まるのを防ぐ(封じ込めまたはオイルバリアなどによる)。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

ルミ ビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

封じ込め及び浄化の方法及び 機材 : 適切な吸収剤を使って流出の残余物を除去する。
本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。
大規模な流出の場合は、物質が広がらないように、堤防で囲うか、他の適切な封じ込めを行う。堤防で囲った物質をポンプで汲み出せるのであれば、回収物質は、ベント付き容器に保管すること。
漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。
追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

接触回避 : 強酸
強塩基類

衛生対策 : 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。
取扱後および飲食、ガム、タバコの使用前、またはトイレ使用前には、石鹸と水でよく手を洗う。
使用後は、全ての保護服を洗う。

保管

安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質 : 強酸化剤

安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度	出典
クロラントラニリプロール	500008-45-7	TWA (吸入性画分)	10 mg/m ³	Corteva OEL

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

		TWA (Respirable fraction)	3 mg/m3	Corteva OEL
--	--	---------------------------	---------	-------------

設備対策 : 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。
従業員への暴露を勧告限界値以下に保つため十分な換気を行う。

保護具

呼吸用保護具 : 適切な許容限界を超えた濃度で、空気中の浮遊物質に暴露される可能性がある場所では、承認されたダストおよびミスト用カートリッジ付呼吸保護具を着用すること。

手の保護具

備考 : この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ポリ塩化ビニル (PVC またはビニル)。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム (ニトリルまたは NBR)。
注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件（切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護）、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具 : この物質との接触を避けるため保護用眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具 : 手袋、前掛け、長靴、カバーオールなどの保護衣を必要に応じて着用すること。

保護対策 : この製品を使用するとき、製品の最終使用者は保護措置に関するラベルの指示に従わなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 青色
臭い : かすか
融点/ 範囲 : データなし
沸点/ 沸騰範囲 : データなし
可燃性 (液体) : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 値 : データなし

爆発範囲の下限 / 可燃下限 値 : データなし

引火点 : > 93 ° C

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

方法: 密閉式引火点試験

自己発火性	: データなし
pH	: 4.9~5.9
自然発火点	: データなし
粘度	
粘度(粘性率)	: データなし
動粘度(動粘性率)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	
密度	: 1.23~1.27 g/cm3
相対ガス密度	: データなし
自己発熱性化学品	: データなし
粒子特性	
粒子サイズ	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: 強酸 強塩基類
危険有害な分解生成物	: 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。 分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない: 窒素酸化物(NOx) 炭素酸化物

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 425
備考: 情報源: 内部試験報告書
- 急性毒性（吸入） : LC50 (ラット、オスおよびメス): > 5.08 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 情報源: 内部試験報告書
- 急性毒性（経皮） : LD50 (ラット、オスおよびメス): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
備考: 情報源: 内部試験報告書

成分:

クロラントラニリプロール:

- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
- 急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 5.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性（経皮） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402

プロピレングリコール:

- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 20,000 mg/kg
- 急性毒性（吸入） : LC50 (ウサギ): 317.042 mg/l
曝露時間: 2 h
試験環境: 粉じん/ミスト
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: ミストは上気道(鼻と喉)を刺激することがある。

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ): > 2,000 mg/kg
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

皮膚腐食性／刺激性

製品:

種	: ウサギ
曝露時間	: 72 h
方法	: OECD 試験ガイドライン 404
結果	: 皮膚刺激なし
備考	: 情報源: 内部試験報告書

成分:

クロラントラニリプロール:

種	: ウサギ
結果	: 皮膚刺激なし

プロピレングリコール:

種	: ウサギ
結果	: 皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

製品:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし
曝露時間	: 72 h
方法	: OECD 試験ガイドライン 405
備考	: 情報源: 内部試験報告書

成分:

クロラントラニリプロール:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 405

プロピレングリコール:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

試験タイプ	: ビューラー法
種	: モルモット
アセスメント	: 皮膚感作性なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 406
備考	: 情報源: 内部試験報告書

成分:

クロラントラニリプロール:

試験タイプ	: 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)
種	: マウス
方法	: OECD 試験ガイドライン 429
結果	: 皮膚感作性なし

プロピレングリコール:

種	: ヒト
結果	: 皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性

成分:

クロラントラニリプロール:

生殖細胞変異原性 - アセスメント	: In vivo 試験で、突然変異誘発性が示されなかった。In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。
-------------------	---

プロピレングリコール:

生殖細胞変異原性 - アセスメント	: In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。
-------------------	--

発がん性

成分:

クロラントラニリプロール:

発がん性 - アセスメント	: 動物試験では発がん性はなかった。
---------------	--------------------

プロピレングリコール:

発がん性 - アセスメント	: 動物試験では発がん性はなかった。
---------------	--------------------

パリゴルスカイト:

発がん性 - アセスメント	: 一部の試験動物で発がん性のあった成分を含有する。
---------------	----------------------------

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

生殖毒性**成分:****クロラントラニリプロール:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
実験動物において発生毒性は観察されなかった。

プロピレングリコール:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。動物試験では、繁殖性を阻害しなかった。
動物試験で催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）**製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

成分:**クロラントラニリプロール:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

プロピレングリコール:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

パリゴルスカイト:

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）**製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

成分:**クロラントラニリプロール:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

反復投与毒性

成分:

プロピレングリコール:

備考 : プロピレングリコールに反復過剰暴露すると、まれに中枢神経系影響を起こすことがある。

パリゴルスカイト:

備考 : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている : 肺。

誤えん有害性

製品:

物性上、誤えん有害性は低い。

成分:

クロラントラニリプロール:

物性上、誤えん有害性は低い。

プロピレングリコール:

物性上、誤えん有害性は低い。

パリゴルスカイト:

物性上、誤えん有害性は低い。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 7.74 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203
GLP: 該当
備考: 情報源: 内部試験報告書

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.0138 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 202
GLP: 該当

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

備考: 情報源: 内部試験報告書

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): > 7.74 mg/l
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 201
GLP: 該当
備考: 情報源: 内部試験報告書

成分:**クロラントラニリプロール:**

魚毒性 : LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): > 13.8 mg/l
曝露時間: 96 h

LC50 (*Ictalurus catus* (ナマズ)): > 13.4 mg/l
曝露時間: 96 h

LC50 (*Lepomis macrochirus* (ブルーギル)): > 15.1 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.0116 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Selenastrum capricornutum* (緑藻)): > 2 mg/l
曝露時間: 72 h

M-ファクター (水生環境有害 : 10
性 短期 (急性))
M-ファクター (水生環境有害 : 10
性 長期 (慢性))

プロピレングリコール:

魚毒性 : LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): 40,613 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : LC50 (*Ceriodaphnia dubia* (ミジンコ)): 18,340 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 19,000 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)):
に対する毒性 (慢性毒性) 13,020 mg/l
エンドポイント: 子孫の数
曝露時間: 7 d
試験タイプ: 半止水式

微生物に対する毒性 : 最大無影響濃度 (Pseudomonas putida (シュードモナス プチ
ダ)): > 20,000 mg/l
曝露時間: 18 h

残留性・分解性

製品:

生分解性 : 備考: 易分解性ではない。
活性成分のデータに基づく推定

成分:

クロラントラニリプロール:

生分解性 : 方法: OECD 試験ガイドライン 301
備考: 易分解性ではない。

プロピレングリコール:

生分解性 : 好気性
結果: 易分解性
生分解: 81 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301F あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 合格

結果: 易分解性
生分解: 96 %
曝露時間: 64 d
方法: OECD テストガイドライン 306 あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 非該当

生化学的酸素要求量 (BOD) : 69.000 %
インキュベーション時間: 5 d

70.000 %
インキュベーション時間: 10 d

86.000 %
インキュベーション時間: 20 d

化学的酸素要求量 (COD) : 1.53 kg/kg

ThOD : 1.68 kg/kg

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

光分解性 : 速度定数: 1.28E-11 cm³/s
方法: 推定値

生体蓄積性

製品:

生体蓄積性 : 備考: 生物濃縮されない。
活性成分のデータに基づく推定

成分:

クロラントラニリプロール:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 2.76 (20 ° C)
(log 値)

プロピレングリコール:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 0.09
方法: 推定値

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -1.07
(log 値) 方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は低い (BCF: < 100 または Log Pow: < 3)。

パリゴルスカイト:

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。
(log 値)

土壌中の移動性

製品:

環境中の分布 : 備考: 製品は土壌中で移動するとは考えられていない。

成分:

クロラントラニリプロール:

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

プロピレングリコール:

環境中の分布 : Koc: < 1
方法: 推定値
備考: ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。
土壌中移動性がきわめて大きい (Koc: 0~50)。

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

パリゴルスカイト:

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

オゾン層への有害性

成分:

クロラントラニリプロール:

オゾン層破壊係数 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

プロピレングリコール:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

パリゴルスカイト:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

製品:

PBT および vPvB の評価結果 : 製品は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) 物質を 0.1% 以上含んでいない。製品は、極めて難分解性、高生体蓄積性 (vPvB) 物質を 0.1% 以上含んでいない。

成分:

プロピレングリコール:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性 (vPvB) があるとは考えられていない。

パリゴルスカイト:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) は評価されていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用後
或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性
がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃
棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定する
のは廃棄物排出者の責任である。
内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規
則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Chlorantraniliprole)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9
環境有害性	: 該当

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s. (Chlorantraniliprole)

国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: Miscellaneous
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	: 964
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	: 964

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Chlorantraniliprole)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9
EmS コード (EmS Code)	: F-A, S-F
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant)	: 該当 (Chlorantraniliprole)
備考	: Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

備考 : 国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

関連法規

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (則 34 条の 2 別表 2)

化学名	含有量 (%)	備考
プロピレングリコール	>=1 - <10	2025 年 4 月 1 日以降
パリゴルスカイト	>=0.1 - <1	2025 年 4 月 1 日以降

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (則 30 別表 2)

化学名	備考
プロピレングリコール	2025 年 4 月 1 日以降

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
3-ブromo-N-[4-クロロ-2-メチル-6-(メチルカルバモイル)フェニル]-1-(3-クロロピリジン-2-イル)-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド	723	50

農薬取締法

ルミビアTMFS

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/01/13
1.1	2025/05/28	800080101189	初回作成日: 2023/01/13

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

Corteva OEL : Corteva Occupational Exposure Limit

Corteva OEL / TWA : 8-hr TWA

ADR - 陸路による 危険物品の国際輸送に関する協定; ASTM - 米国材料試験協会; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと 考えられる濃度; EmS - 緊急時のスケジュール; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学 品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害 濃度; IMDG - 国際 海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; SDS - 安全データシート; UN - 国連; ENCS - 化審 法の既存化学物質リスト ISHL - 労働安全衛生法

製品コード: GF-3980

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA